

にほん いえ か 日本で家を借りる

動画リンク: <https://youtu.be/a-txrZjSQ00>

こんかい にほん いえ か まな にほんご べんきょう
今回は「日本で家を借りる」を学びながら、日本語を勉強しましょう。
この動画は、前半は少しゆっくりのスピードで、漢字には " ふりがな " があり
ます。
こうはん すこ はや かんじ
後半は少しだけ速く (+ 20 %) なり、漢字に " ふりがな " はありません。
がくしゅう やくだ
学習にお役立てください。

じこ しょうかい ■自己紹介

わたし にほん ふどうさん えいぎょうたんとう はたら やまもと けんた まいにち きやくさま
私は、日本で不動産営業担当として働いている山本健太です。毎日、お客様に
ちんたいじゅうたく しょうかい しごと とく がいこく ほう にほん あん
ぴったりの賃貸住宅を紹介する仕事をしています。特に、外国の方が日本で安
しん せいかつ はじ てつだ わたし たいせつ やくわり
心して生活を始められるよう、お手伝いすることが私の大切な役割です。

しごと はじ りゅうがくけいけん ゆうじん にほん いえ か
この仕事を始めたきっかけは、留学経験のある友人が「日本で家を借りるのは
むずか はな しょうい ほしょうじん せいど
難しい」と話していたことです。たくさん書類やルール、保証人制度など、
がいこくじん ほう わ おお かん わたし
外国人の方にとって分かりにくいことが多いと感じました。だからこそ、私は
かべ すこ ひく おも しごと えら
その壁を少しでも低くしたいと思い、この仕事を選びました。

がいこく かた はじ にほん いえ か ふあん しんぱい おち
外国の方が初めて日本で家を借りるとき、不安や心配がたくさんあると思いま
す。でも、だいじょうぶ てつづ なが りかい あんしん
す。でも、大丈夫です。手続きの流れやポイントをしっかり理解すれば、安心
あたら せいかつ はじ
して新しい生活を始めることができます。

どうが にほん いえ か たいせつ ていねい
この動画では、日本で家を借りるための大切なポイントを、ひとつひとつ丁寧
せつめい いえ さが ほうほう けいやく てしゅん ひつよう しょうい せいかつ ちゅういてん
に説明していきます。家を探す方法、契約の手順、必要な書類、生活の注意点
みな みな あんしん く じょうほう とど
など、皆さんが安心して暮らせるような情報をお届けします。
いっしょ まな にほん あたら せいかつ たの
一緒に学んで、日本での新しい生活を楽しみましょう！

■日本の賃貸住宅の基本知識

日本で家を借りるときは、まず賃貸住宅の種類や特徴を知ることが大切です。
日本では主にアパート、マンション、一軒家の3つのタイプがあります。

アパートは、小さな建物で木や軽い鉄骨で作られています。家賃が比較的安く、一人暮らしに向いています。マンションは、大きな鉄筋コンクリートの建物で、安全性が高く、防音もしっかりしています。部屋にはエアコンやエレベーターなどの設備がついていることが多いです。一軒家は、一つの建物全体を借りるタイプで、家族で住む人に向いています。

日本の家には、特別な文化があります。例えば、げんかんで靴を脱ぐ習慣です。家に入るときは靴を脱ぎ、スリッパに履きかえます。また、和室という伝統的な部屋があります。和室にはたたみという柔らかい床が敷かれていて、素足で歩くと気持ちがいいです。

また、日本の家には押し入れという収納スペースがあります。押し入れには布団や季節ごとの服をしまふことができます。最近では、和室がなく、すべて洋室の物件も増えています。

都市部と地方では、賃貸住宅に違いがあります。都市部では、家賃が高く、部屋は少し狭いことが多いです。しかし、駅や店が近くて便利です。地方では、家賃が安く、部屋が広い物件が多いです。自然に囲まれた環境でゆったりと生活できます。

最近では、新しいタイプの賃貸住宅も増えています。例えば、家具付き物件やインターネット完備物件です。家具付き物件は、すぐに生活を始めることができるので便利です。

日本の賃貸住宅は、場所や種類によって特徴が違います。自分の生活スタイルや目的に合った家を選ぶことが大切です。

■家を探す方法

日本で賃貸住宅を借りるとき、最初に大切なのは自分に合った家を探す方法を知ることです。

主な方法には、不動産会社を利用することやインターネットで物件を検索することがあります。不動産会社に行けば、担当者が希望に合った物件を紹介してくれます。希望する家賃、部屋の大きさ、場所などを具体的に伝えることで、自分に合った物件が見つかりやすくなります。

一方で、インターネットを使えば、自宅からスマートフォンで簡単に物件情報を調べることができます。多くの賃貸サイトでは、家賃、駅からの距離、間取りなど、細かい条件で検索ができ、写真や間取り図も確認できます。さらに、外国人向けに多言語対応のサイトも増えているので、言葉の心配も少なくなっています。

また、住む場所についても考えることが大切です。交通の便が良い場所やスーパー、病院が近くにある場所はとても便利です。外国人が多く住むエリアでは、サポート体制が整っていることが多く、安心して生活を始めることができます。そして、気に入った物件が見つかったら、実際に部屋を見に行く「内見」を行います。内見では、部屋の明るさ、換気のしやすさ、水道やガスの状態、騒音の有無などをしっかり確認しましょう。

内見のときに気になることがあれば、遠慮せずに不動産会社の担当者に質問することが大切です。自分の目で部屋や周辺環境をしっかりとチェックすることで、安心して新しい生活を始めることができます。

■契約までの流れ

気に入った物件が見つかったら、次は契約の手続きに進みます。日本で賃貸住宅を契約するには、いくつかのステップを順番に進める必要があります。

まず、物件を借りる意思を伝えるために「申し込み」を行います。申し込みには「申込書」を記入し、名前や住所、職業、収入などの情報を提供します。その後、不動産会社による「審査」が行われ、収入の安定性や保証人の有無が確認されます。

審査に通ると、次に必要な書類を準備します。一般的に必要な書類は、在留カード、パスポート、収入証明書、銀行口座情報などです。これらの書類を不動産会社に提出し、契約を進めます。そして、契約時には初期費用が必要になります。

初期費用には敷金、礼金、仲介手数料、前家賃などが含まれ、物件によって金額が異なります。通常は家賃の3～5か月分が必要です。

契約書には、家賃の支払い方法や退去時のルールなど、重要な内容が書かれています。わからないことがあれば、不動産会社に質問し、納得した上で署名と捺印（ハンコを押すこと）を行います。契約が完了し、初期費用を支払うと、物件の「鍵」が渡されます。

この瞬間から、新しい生活が始まります。契約の流れは初めてだと少し複雑に感じるかもしれませんが、一つずつ確認しながら進めれば安心です。何か疑問や不安があれば、不動産会社の担当者に相談しながら手続きを進めることが大切です。

■保証人と保証会社

日本で賃貸住宅を借りるとき、多くの場合、保証人や保証会社が必要です。これは、借りる人が家賃を払えなくなったり、契約内容を守れなかったときに、代わりに責任を負う仕組みです。まず保証人とは、契約者が家賃を支払えなくなったときに代わりに支払いをする人のことです。

多くの場合、保証人は家族や親戚になりますが、安定した収入があり、日本国内に住んでいることが条件とされることが多いです。しかし、外国人の場合は日本に保証人になってくれる人がいないことがよくあります。

その場合、保証会社を利用することができます。保証会社は、個人の保証人の代わりに責任を持つ会社で、保証料を支払うことで、保証人となって契約を支えてくれる心強い存在です。毎年、保証料を支払って契約を続ける仕組みになっています。

保証会社を使うことで、保証人がいなくても賃貸契約をスムーズに進めることができます。

保証人と保証会社にはそれぞれ違いがあります。保証人は家族や親戚がなることが多く、費用がかからないことが一般的ですが、保証会社はお金を払って利用するサービスです。外国人が保証人を見つけるのは簡単ではありませんが、外国人向けのサポートを行っている不動産会社を利用したり、役所や学校、職場のサポートを受けることで解決できる場合もあります。

また、最近では保証人が不要な物件もあります。マンスリーマンションやウィークリーマンションで、契約期間があらかじめ決まっている場合です。その期間分の家賃を先に支払うことで、保証人なしで契約できることがあります。

保証会社を利用する際は、契約内容をしっかり確認することが大切です。保証料や更新料がいくらかかるのか、家賃の支払いが遅れた場合の手続きはどうするのか、契約期間はどれくらいなのかを事前に理解しておく必要があります。

保証人を頼むか、保証会社を利用するかは自分の状況によって選ぶことが大切です。保証人がいれば費用を抑えることができますし、保証会社を使えば保証人がいなくても契約が可能です。どちらを選ぶ場合でも、契約内容をしっかりと確認し、納得した上で契約を進めることが安心して新しい生活を始めるためのポイントです。

■住み始めてからの生活

日本で賃貸住宅を借りた後は、快適な生活を送るためにいくつかの大切なポイントがあります。日本の生活には特有のルールやマナーがあり、それを守ることで近隣の人たちとの良い関係を築くことができます。

まず、日本ではゴミの分別がとても重要です。ゴミは「燃えるゴミ」「燃えないゴミ」「資源ゴミ」などに分けて捨てます。地域ごとにゴミの出し方や収集日が決まっているので、引っ越し後にゴミのルールを確認しましょう。間違った方法でゴミを出すと、回収してもらえませんが注意が必要です。

次に、騒音に気をつけることが大切です。日本の賃貸住宅は壁が薄いことが多く、大きな音が隣の部屋に響くことがあります。夜遅い時間に大きな声で話したり、音楽を大音量で流したりすることは避けるようにしましょう。特にアパートやマンションでは、静かな環境を保つことが大切です。

また、近隣住民との良い関係も重要です。引っ越したばかりの時は、近くに住んでいる人に軽くあいさつをしておくことで良い印象を与えます。困ったことがあったときに助けてもらえることもあります。日常的に会った時も「おはようございます」や「こんにちは」と声をかけると、安心感が生まれます。

トラブルが起きたときは、冷静に対応しましょう。例えば、水道やガス、電気に問題が起きた場合は、管理会社や大家さんにすぐに連絡することが大切です。また、隣人とのトラブルは直接話し合うのではなく、不動産会社や管理会社に相談することで解決できることが多いです。

賃貸住宅では、契約で決められたルールを守ることも大切です。例えば、ベランダでの喫煙やペットの飼育が禁止されている場合があります。契約書に書かれている内容をしっかり確認し、違反しないようにしましょう。

さらに、生活を快適にするための工夫も大切です。例えば、季節に合わせて部屋を整えることで、より住みやすくなります。夏は通気性を良くし、冬は暖かさを守る工夫をすることで、快適な生活が送れます。また、収納スペースを上手に使うことで部屋を整理整頓すると、部屋が広く感じられます。

日本の賃貸住宅での生活は、少し注意するポイントが多いかもしれませんが。しかし、ルールを守り、周りの人たちと良い関係を築けば、とても快適で楽しい生活が送れます。何か困ったことがあれば、管理会社や地域のサポートサービスを利用することで解決できることが多いです。

■日本の賃貸住宅の最近の変化

日本の賃貸住宅は、近年さまざまな変化が起きています。社会や暮らし方の変化に合わせて、賃貸住宅の形やサービスも少しずつ変わってきました。ここでは、最近の賃貸住宅の特徴や変化について紹介します。

まず、日本では少子高齢化が進んでいます。そのため、一人暮らしや高齢者向けの賃貸物件が増えています。例えば、バリアフリー対応の物件や、エレベーター付きの物件が多くなりました。また、少人数の家族や単身者向けの小さな物件も増えています。

次に、外国人向けの対応が進んでいることも大きな変化です。多くの不動産会社が外国人向けに多言語対応のサービスを提供しています。英語や中国語、韓国語などで契約の説明を受けることができる物件も増えています。また、外国人向けの保証会社やサポート窓口が設けられ、保証人がいなくても契約しやすくなっています。

最近では、スマートホームの物件も増えています。スマートホームとは、インターネットを使って家の設備をコントロールできるシステムのことです。例えば、スマートフォンでエアコンや照明を操作できたり、防犯カメラで安全を確認したりすることができます。こうした物件は、忙しい人や安全面を気にする外国人にとってとても便利です。

また、家具付き物件やインターネット完備物件も増えています。家具付き物件は、引っ越し後すぐに生活を始めることができるため、特に短期間だけ住む外国人に人気です。インターネット完備の物件では、入居してすぐにインターネットを使えるため、手続きの手間が省けます。

賃貸住宅の市場では、契約の柔軟性も高まっています。以前は2年ごとの契約が一般的でしたが、最近では1年契約や短期間だけ借りられる物件も増えています。仕事や留学などで短期間だけ住む外国人にとっては、とても便利なシステムです。

さらに、防災設備の充実も進んでいます。日本は地震が多い国なので、最近の物件では耐震性が高くなっています。防災マニュアルが用意されている物件もあり、外国人でも安心して暮らせるようになっていきます。

このように、日本の賃貸住宅は時代の変化に合わせて、少しずつ進化しています。特に外国人が安心して生活できるように、多言語サポートや柔軟な契約、便利な設備が整えられています。今後も、より多くの外国人が日本で快適に暮らせるよう、賃貸住宅のサービスやシステムはさらに改善されていくでしょう。

■安心して家を借りるためのアドバイス

日本で安心して賃貸住宅を借りるためには、いくつかの大切なポイントがあります。これから紹介するアドバイスを知っておくことで、トラブルを避け、快適な生活を始めることができます。

まず、契約書の確認はとても重要です。契約書には、家賃の支払い日や契約期間、退去時のルールなど、生活に関わる大切なことが書かれています。特に、敷金や礼金、退去時の修理費用についての項目はしっかり確認しましょう。わからない言葉や内容があれば、不動産会社の担当者に質問することが大切です。

次に、家賃や光熱費の支払いを忘れないようにしましょう。日本では、家賃は毎月同じ日に銀行口座から引き落とされることが多いです。光熱費（電気、ガス、水道など）は別で支払う必要があることが多いです。遅れずに支払いを行うことで、トラブルを防ぐことができます。

また、契約時に初期費用が必要です。敷金、礼金、仲介手数料、前家賃など、物件によって金額は異なりますが、一般的に家賃の3～5か月分が必要になります。契約前にどのような費用がかかるのか、しっかり確認しましょう。

日本で賃貸住宅に住み始めたら、近隣住民との良い関係を大切にすることが快適な生活につながります。日本では、隣の人や同じ建物に住む人にあいさつをすることが、良い関係を築く第一歩とされています。日常的に「おはようございます」や「こんにちは」と声をかけるだけでも、お互いに安心して生活できるようになります。

また、引っ越し後に近所へのあいさつをする習慣もあります。隣や上下の部屋に住む人に、小さなプレゼントを持ってあいさつに行くことが一般的ですが、最近では引っ越しのあいさつをしない人も増えています。必ず行わなければならないわけではありませんが、あいさつをすることで安心感や信頼が生まれることもあります。逆に、自分があいさつを受ける立場になった場合は、温かく受け入れることで、良好な関係が築けるでしょう。

小さなプレゼントとは、高価なものではなく、相手に気を使わせない実用的なアイテムが喜ばれます。たとえば、フェイスタオルやキッチン用の洗剤、スポンジ、ラップ、アルミホイルなどは、どの家庭でも使えるため人気があります。個包装のお菓子や、ティッシュペーパー、トイレトペーパーなども気軽に渡せる定番の品です。

プレゼントには「ごあいさつ」と書かれた「のし紙」をつけると、より丁寧な印象になります。価格の目安は500円～1,000円程度で十分です。品物を手渡すときは、「これからよろしくお願いします」と一言添えると、相手に好印象を与えることができます。

こうした小さな心遣いが、日本での生活をより快適で安心できるものにしてくれます。特に外国人にとっては、日本の文化やマナーに触れる良い機会にもなります。無理をする必要はありませんが、自然な形で近隣の人々と関わるのが大切です。

トラブルが起きたときの対応も覚えておきましょう。例えば、水道やガス、電気に問題が発生した場合は、自分で修理しようとせず、必ず不動産会社や管理会社に連絡しましょう。また、騒音や近隣住民とのトラブルがあった場合も、直接話し合わずに管理会社に相談することで、冷静に解決できることが多いです。

さらに、退去時のルールも確認しておくことで安心です。日本では、退去する1～2か月前に大家さんや管理会社に連絡することが一般的です。退去時には部屋をきれいに掃除し、鍵を返す必要があります。契約書に書かれているルールを守ることで、追加費用が発生するリスクを減らせます。

最後に、サポートサービスの活用もおすすめです。困ったときは、不動産会社や外国人向けのサポート窓口にご相談しましょう。言葉がわからない場合は、通訳サービスや翻訳サポートを利用することで、問題をスムーズに解決できます。

安心して家を借りるためには、契約内容をしっかり理解し、ルールを守りながら生活することが大切です。そして、困ったことがあれば一人で抱え込まず、必ず専門のサポートを受けるようにしましょう。

■日本での生活を楽しむために

日本で賃貸住宅を借りて生活を始めると、日々の暮らしの中で日本ならではの魅力を感じることができます。安心して住むための準備が整ったら、次は日本での生活を楽しむ工夫をしてみましょう。

まず、日本の賃貸住宅は安全性が高いことで知られています。多くの物件には防犯カメラが設置されていたり、オートロック機能があったりします。また、日本は治安が良く、夜でも安心して外を歩ける場所が多いです。こうした環境は、外国人にとっても安心して生活できるポイントです。

次に、日本では地域のイベントや文化体験を楽しむことができます。例えば、お祭りや季節ごとの行事が各地で行われます。春には桜を楽しむ「花見」、夏には「花火大会」や「盆踊り」、秋には「紅葉狩り」、冬には「温泉旅行」など、季節ごとに楽しみ方があります。地域のイベントに参加することで、地元の人たちと交流するチャンスも広がります。

さらに、日本の賃貸住宅は便利な設備が整っていることが多いです。例えば、宅配ボックスが設置されている物件では、家にいなくても荷物を受け取ることができます。インターネットが完備されている物件なら、すぐにオンラインでの仕事や勉強を始めることができます。

日本での生活では、小さな習慣を大切にすることもポイントです。例えば、毎朝ゴミを分別して出す、近所の人にあいさつをする、家の中をきれいに保つなど、日本の生活スタイルに慣れることで、より快適な毎日を過ごせるようになります。

最後に、何よりも大切なのは自分らしい生活を楽しむことです。新しい環境に慣れるまでは大変なこともあるかもしれませんが、少しずつ自分のペースで日本での生活を楽しんでください。困ったことやわからないことがあれば、いつでも不動産会社やサポート窓口にご相談することができます。

日本での生活は、文化や環境の違いから最初は驚くこともあるかもしれません。しかし、それを楽しみながら生活することで、日本での毎日がもっと豊かで素晴らしいものになります。これからの生活が、皆さんにとって楽しく安心できるものになることを願っています。

「日本で家を借りる」はいかがでしたか。
コメント欄から感想をみんなに教えてください。
それでは、また別の動画でお会いしましょう。



Japanese-listening-SUSHI

